

野辺地町統合小学校新築事業検討委員会

第12回会議 議事録

会議日	令和6年12月6日	会議時間	18:00	～	19:30
出席者	合計 22 名 (うち委員 13名、事務局 5名、設計業者 4名)				

案件

- (1) 設計業務入札結果について
- (2) 技術提案書の概要説明について
- (3) 検討内容の整理について

議 事

【開会】

[事務局]/開会のあいさつ。

[委員長]/挨拶

「雪も降り始め、子供たちは笑顔で元気いっぱいに喜んでいます。そのような子供たちのための新しい学校への見通しが今日の資料から感じられ、具体的な話ができるのではと考えております。皆様どうぞよろしくお願いいたします。」

「本日は、1つ目の案件が『設計業務入札結果等について』、2つ目が『技術提案書の概要説明について』、そして3つ目が『検討内容の整理について』ということになります。

この度、入札を受けて一緒に設計を作り上げていく設計業者様が決まりましたので、まずは入札に係る部分の説明を事務局の方にお願ひし、その後、株式会社石川設計様から、ご提案いただいた技術提案をもとに、どの様な考え方でこれから設計を進めていくか、という点についてご説明いただきたいと思ひます。」

【案件(1) 設計業務入札結果等について】

[事務局]/資料1、資料2の説明

委員から質問等はなし。

[委員長]

「説明ありがとうございました。では続けて石川設計様の方から案件(2) 技術提案書の概要説明についてお願いいたします。」

【案件(2) 技術提案書の概要説明について】

[石川設計]/資料3の説明

「株式会社石川設計と申します。私達は『野辺地町の歴史を引継ぎ、みんなでつくる

野辺地町統合小学校新築事業検討委員会

第12回会議 議事録

新しい学校』を目指して、この業務にむかうこととしました。

野辺地町の北前船に由来する深い歴史を大事にし、この町の拠点となる学校としたいと考えております。早速私たちの計画について説明したいと思います。」

- ・既存配置図と構想案
- ・提案の配置案
- ・セキュリティの図
- ・アプローチのイメージ
- ・校舎平面図1階、2階
- ・ラウンジのあり方
- ・校舎断面図
- ・児童館平面図
- ・堆雪上の図
- ・パース 等の説明

「私達はこの委員会の場を通じて、よりよい学校の在り方について皆さんと意見を交わしあい、様々な課題を乗り越え、『野辺地町の自然や文化とともに歩み、地域の風景となる未来シンボルの学校』を一緒に作って参りたいと考えていますので、何卒よろしくお願いいたします。」

[委員長]

「説明ありがとうございました。いよいよこれから本格的な設計に入るということで、建物のおおよそを形作る基本設計を今年度末までに仕上げるという、非常にタイトなスケジュールの中ですが、より良い学校を作り上げていくために皆様のお力を賜りたいと思います。」

「資料4の校舎、児童館の建設手順について意見交換をしていただきたいと思います。提案では、現在の体育館を解体した後に児童館を建設する手順となっており、新校舎供用開始時に新児童館は未設置のため、一時的な児童館仮運用方法を探ります。児童館の配置の検討も含めて皆さんから意見をお出しいただければと思います。」

[健康づくり課]/児童館説明

新しい小学校、児童館が使いやすく、安心・安全なものになることが一番の目的であると思います。設計段階で児童館の配置により、供用開始が小学校より遅れた場合に、今ある児童館や町内の施設等を活用して遅れた部分の期間を補っていただければいいのかなと検討しているところではあります。放課後児童クラブについても、現若葉小学校と野辺地小学校2校の利用者は7～80名くらいおり、その人数が入れる安心・安全な場の確保が出来ればと考えています。

[委員長]

「説明ありがとうございました。事務局、石川設計、健康づくり課からもありました通り、児童館の配置によっては供用開始の時期がずれ込むということが考えられます。これについて各グループで意見を出し合っていただきまして、そのあとで全体共有をしたいと思います。」

野辺地町統合小学校新築事業検討委員会

第12回会議 議事録

[グループ討議実施]

グループ A 討議内容

メリット)・緑が多いプランで外での活動が増えそう・保護者用の駐車場が近いのでアクセスが容易・校舎と児童館が別棟なので管理がしやすい・年がたち子供の数が少なくなった時に児童館以外の使い方もできる

デメリット)・校舎と児童館を移動するとき管理が大変かもしれない(悪天候時も)・学校職員と児童館職員の連携・連絡が大変かもしれない・児童館建設中の子供の居場所をどうするか→案として、・若葉小など別の場所に児童館として役割をもたせてはどうか、そこに行くまでの移動手段はどうか・グラウンドの一部に校舎と同じタイミングで児童館を建てるのはどうか、そうするとグラウンドの形、駐車場の形が変わっていく可能性がある

グループ B 討議内容

結論として今の形、プランのままでよいのではないかと。グループAと内容が似ているが、児童館を校舎と別棟とすると管理しやすく、児童数が減ったときに別の用途にも使用できる。

問題点としてはやはり供用開始までの期間どうするか、現在の児童館を使うとして移動がネックになるだろう。

校舎のスペースは広々としていい内容だと思う。校舎が2階建てというのも防災や、管理の観点からいい学校ができるのではないかと。その他救急車のアプローチや、駐車場の台数が少なくないかなど、などの話題も。

グループC討議内容

グループCでは、児童館が校舎と同時期に建てられないという前提から、では新校舎の中に間借りをして運営するのか、または現在の児童館を使うのかという考えの元で話し合いをした。

ただ、計画のなかで新校舎には空き教室がないため間借りするのは難しい。

新児童館の配置を現体育館の駐車場の空きスペースに建てたらどうか。もしくは、

今ある児童館や、若葉小学校の校舎が空くのでそこに児童館の機能を移しては建てられるまでの期間使用してはどうか。そうすると子供の移動の問題も出る。町でバスを出すことは可能か。

[委員長]

「短い時間で各グループご説明ありがとうございました。メリットデメリットの観点から議論していたたり、配置を変えるのはどうかという点を議論していただいたり様々な意見が出ました。また子供たちの新児童館建設中の居場所をどうするかという議論で若葉小、今の児童館や、状況によっては公民館の空いている場所があれば使える部分があるのかなと思いました。」

野辺地町統合小学校新築事業検討委員会

第12回会議 議事録

「次に案件（３）検討内容の整理についての説明を事務局からお願いいたします。

[事務局]

「今日の皆様からの意見を参考にしながら建物配置プランの検討を次回行います。石川設計様に3～4案程度プランを作成していただきそれをもとに議論していきます。」

[委員長]

「次回の検討委員会では今回の話し合いをもとに石川設計様の方にプランを考えていただきます。次回まで大変日にちが短いものではありますが無卒よろしくお願いいたします。」

委員から質問等はなし。

【閉会】

[事務局]/閉会の挨拶。次回の検討委員会の開催は12月16～20日を予定。